

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



「保守の会」所属議員
ユニークな人材そろい

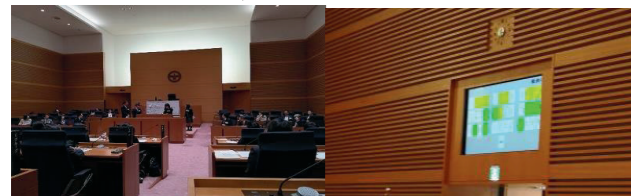
高校生との意見交換会

昨年開始された、町田市議会議員と高校生の意見交換会(第2回)が行われました。高校生の参加は27名、参加高校は6校に及び、昨年を大幅に上回り、浸透度合いが増した感がありました。今回、議員側は議会運営委員と会派代表の皆さんが対応しましたが、今年は見学者として参加しました。

進行スタイルはワークショップ方式(6グループに編成)で行われ、最後に本会議場でグループごとの話し合いの結果を高校生が自ら発表しました。論議した形をパネルに書き、テーマ、現状、課題、理想像、解決策と分けたスペースに記入をしていました。



ワークショップ、まとめたパネル



本会議場で発表、成果の電子投票表決集計中
議場は、車いす利用の生徒も対応できました

バリアフリー、交通網、交通手段、街路灯、街の活性化などがテーマに取り上げられていました。中高生が無料(低額)で過ごせる居場所が求められたり、高校生が連合して開催される提案がありました。議員の一般質問にも活かされるものと思いました。

災害の危機管理と議会の体制

真岡市においては、災害の発生時に、行政の災害対策本部が設置されるほか、市議会には、「対策支援本部」を設置します。行政との関係において、議会は「支援」とする側に位置付けられています。構成メンバーは、本部長(議長)、副本部長(副議長)、本部長(議会運営委員会委員)と定められており、議会事務局は行政との連絡調整を行います。それ以外の議員(構成員以外の議員)は、自らの安否、居所などの報告、情報提供を行うことになっています。

真岡市議会の「市議会対策支援本部」は、その名称に、「支援」が入っており、災害時に、議決機関以外の存在意義を含ませようとしたものと思います。そのために、本部長の職務代理制度が導入されており、事故やメンバーが欠けた際の順番も詳細に決められています。この間に、真岡市は東日本大震災、竜巻、水害を連続して経験し、「非常時」の想定を決めたものです。町田市議会も、この真岡市議会の取り組みに学び、何らかの対応を検討するべきだろうと考えました。



視察日程の中で自分が写る写真を使用

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ 意見交換会は、市内の高校に限らず、市内在住で市外の高校に通う高校生も対象です

Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-2
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅042-795-7361



BCP推進都市宣言の真岡市

真岡市が平成29年3月全国で初めて「BCP(事業継続計画)策定推進都市宣言」をしています。そのBCP(事業継続計画)とは、説明では次の趣旨とされています。



企業活動における、様々のリスクの存在
⇒地震、竜巻、大雨などの災害、大規模火災、感染症の拡大など緊急事態

事業者の被害を最小限に抑え、できるだけ早期に事業活動の復旧をすることで、会社と社員を守り、取引先からの信頼を得る。

リスクに備え、危機に際し、いかに行動し、事業を継続するかを定めたもの

⇒BCP(Business continuity planning)

通常の企業は自前で復旧が取られるのが基本となりますが、休止の状態、あるいは大幅な操業低下状態を速やかに復旧することは社会全体にとっても必要なことであり、日ごろから企業にその事業復旧のためのシステムを構築してもらうことは必須になると思います。そのために、基礎自治体が個別の企業や事業所に対して、BCP(事業継続計画)策定を求めること、その支援を行うことは、他の自治体でも必要な業務の一つになると思います。

いちご戦争とシルクメロン

いちごの生産量、販売額が日本一の栃木県真岡市を訪れ、担当者の方の説明を聞き、生産地(ビニールハウス)を見学しました。

直近では、生産量:7,059t、販売額:81億1千万円、作付面積:140.8haとなっています。さらに、平成27年度野菜生産出荷統計(いちご)では、1位栃木県(とちおとめ)、2位福岡県(あまおう)、3位熊本県、4位長崎県、5位静岡県となっており、栃木県の中でも真岡市が176ha、断突の日本一と称しているそうです。しかし、このいちごの名産地は、かなり以前は静岡県でした。そもそも、真岡市は県内の足利市から導入期に技術移転を図ったとのことでした。

そのいちごは美味しいもの、大きいものに品種改良され、県単位の競争が行われていました。(あまおう)の福岡県とそのブランド力でも競いあっていました。栃木県でも、新たな品種改良が図られ、新たなブランド名のいちごが誕生するでしょう。

町田市が市内産として推奨するシルクメロン開発も参考にすべきでしょう。



ハウスのビニールが二重になっている

★ 政党無所属・市議会は保守の会 mail : yoshidaben@gmail.com

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)



メール送信

町田市議会議員 **3回連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

宇宙ステーションミールは日本にある

＜以下は公費負担視察でなく、個人旅行＞
世界で唯一の宇宙ステーション「ミール」(旧ソ連)が北海道の苫小牧市にあります。それを小学生と同じ時間帯に見学しました。その場で天まで昇る気持ちでした。

この宇宙ステーション「ミール」は、日本人宇宙飛行士が滞在していたこともあり、実になじみやすい存在です。ただし、天空にあった宇宙ステーション「ミール」はその宇宙空間での利用期限が終わり、大気圏突入をなされた後、廃棄処理が行われました。建造時に、予備機 1 機が建造され、人手を経由して、苫小牧市の大手建設会社が入手し、その後、苫小牧市に引き渡されたものです。

現在は、この宇宙ステーション「ミール」は苫小牧科学センター内で展示、一般公開され、私が訪れた日も、小学校 5 年生の社会科見学が行われていました。話によると、この時期に学校単位で、交代して見学日程が組まれているということでした。子どもたちにとって、広い宇宙への関心が生まれる施設になっており、町田市でもそうした地元貢献を図る企業が生まれてほしいと願っています。



瀬畑亮さんのセロテープアート展を鑑賞

瀬畑亮さんは、町田市の東京造形大学出身で町田市を拠点に活躍する芸術家です。ニチバンのセロテープ (R) でアート作品を制作する世界で唯一のセロテープアート (R) 作家です。セロテープアート (R) は瀬畑氏が考案したもので、セロテープ (R) だけを使用するアート作品です。芯となる材料を一切使わず、一からすべてセロテープ (R) を巻きつけて造形する独自の技法が特徴といわれています。

今回、瀬畑氏の活動 20 周年とセロテープ (R) 誕生 70 周年に加え、ニチバン創業 100 周年の記念として、2018 年 1 月、港区六本木からスタートし、同社ゆかりの自治体などを巡り、横浜市でフィナーレとなる 1 年がかりの展覧会となったものです。



本来は、地元でこうした先進的な技法を生み出して、ユニークな作品を作り続けている作家がいるわけですので、町田市で本格的な展覧会を開催する場を設定するべきものと考えています。もとより、私自身は都心や横浜方面で開催の展覧会に毎回足を運んでいます。

★ 吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員・情報公開

吉田つとむ

交通文化都市・若者育成の街

町田市議会

〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

住民の交通環境は悪化

南町田駅と周辺の整備が進んでいますが、課題も出てきました。第 3 定例会で取り上げたのは、公共道路を閉鎖して関係者の駐車場とされていた問題が不明朗であったことを明らかにしました。同じエリアですが、従来の公園の一部を新設道路にしていることで、その道路に接続する既存道路が一方通行にされたています。さらに、その区間の横断歩道が新規に設置されましたが、車道をその都度反対側に渡るように設定されおり、歩行者にとってより不便になっています。

その理由は、建設後のショッピングモールに出入りする自動車出入りの利便性が最優先されているからです。周辺住民の交通安全や、利便性が後回しになる仕様に周辺環境の整備が進められる姿が次々と明らかになっています。



南多摩斎場の現状報告

南多摩斎場組合議会 (5 市) の会議があり、全議員が出席しました。南多摩斎場は町田市にあり、構成割合が一番が多いのは町田市であり、管理者は石阪丈一町田市長が担当しています。八王子市議会の伊藤忠之議員がこの議会の議長を務めておられます。



今回は決算認定の会議でしたが、私はその利用率に関して尋ねました。全体で 90% 以上の利用があり、その中ではわずかに朝の時間に余裕があるのでした。午前 10 時半以降は 90% 台でも高位の数字を示しています。故障のことを聞きましたが、運転中のものではなく、休止日に細かな必要な修繕が行われているとのことでした。

火葬炉の増設は難しいと聞いていましたので、運転時間のことを尋ねました。今後も利用の増加が予想され、いずれは何かの方法を取るほか無いようです。この南多摩斎場の場所は、私は居住するエリアは横浜市に近く、同市と相互利用ができないものかと要望的な質疑をしました。横浜市は 29 年より市外の利用枠を無くしたことで、町田市民の利用はより困難になっていることによります。

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (自宅)